

今回は「敬老の日」にちなんで、90歳を超えてもなお、現役で頑張っておられる、岐阜新聞社最高顧問 杉山 幹夫さん(94歳)、松波総合病院名誉院長 松波 英一さん(91歳)にお話を伺い、「元気の秘訣」「笠松町の思い出、これからの将来像」「若者へのエール」について、熱く語っていただきました。皆さん、必見です。是非、ご覧ください。



杉山 幹夫氏
岐阜新聞社最高顧問

古田 聖人
笠松町長

松波 英一氏
松波総合病院名誉院長

元気の秘訣

杉山氏 この歳になっても平日は9時30分には出社し、5時半まで仕事をしております。仕事と向き合うことが私にとっての健康の源です。

松波氏 僕も仕事は結構、やっているんですよ。フリーの時間は金土日のみで、90歳を過ぎても医者をやっています。同級生からは頼りにされています。

町長 なるほど!おふたりとも仕事生きがいで、それが健康に繋がっているんですね。



◀対談の様子は動画でもCheck!!



サッチャー元イギリス首相との懇親会の様子

昔話に花が咲く...

杉山氏 昔の本町通り(笠松)はすごかった。

松波氏 冬に堤防から、本町通りに下りるとね、人の吐く息で向こうが見えなかった。それくらい笠松の町に人が出ていた。

杉山氏 神社で市やお祭りも行われていた。司町(現在の役場周辺)は昔、花街と呼ばれていた。うどん屋さん、お寿司屋さん、芸者さんの置き屋さん、華やかだった。



現在も現役で白衣を着て仕事をされています